

宮坂建設工業等が奉仕活動 参道、境内を丁寧に清掃

160人が帯廣神社と十勝護國神社で



【帯広発】宮坂建設工業（帯広、宮坂寿文社長）をはじめとする登寿ホールディングスは、二十六日、帯廣神社と十勝護國神社の清掃奉仕活動を実施し、写真。地域への恩返し

の気持ちを込めて、総勢百六十人がごみや枯れ葉、枝などを拾い集めた。

同社では、創始者の遺訓である「世の為人の為につくせ」の精神から、地域貢

献の一環として、帯廣神社と十勝護國神社の清掃奉仕活動を平成七年から毎年実施。ことしで二十回目の節目を迎えた。宮坂建設工業（帯廣、宮坂寿文社長）、寿ホームエンジニアリング（帯廣、高道伸常務）が参加。

作業開始前に、高道伸常務があいさつ。「地域への恩返し」の思いから、七年から神社の清掃活動を行い、ことしで二十回目を迎える。例年以上のまごころを込めて清掃活動に当たって

ほしい」と呼びかけた。このあと、三つのグループに分かれて参道や境内を

清掃。ごみや枯れ葉、枝のほか、どんと焼きで出た大量の灰を袋に詰めていた。清掃活動後には安全祈願祭を行い、無事故・無災害でことしも一年を乗り越えるため、決意を新たにして

各地で地域貢献活動

帯廣神社など 真心込め清掃

宮坂建設工業

【帯広】宮坂建設工業（本社・帯広、宮坂寿文社長）は4月26日、帯廣神社と十勝護國神社を清掃した。写真。



1995年から実施している恒例の地域貢献活動。グループ企業の平田建設、寿ホームエンジニアリングらも含め160人が参加した。高道伸常

務執行役員は「20回目の節目なので、例年以上に真心を込めて丁寧に実施を」と呼び掛けた。

参加者は3班に分かれ、どんと焼きの灰やごみ、枯れ枝などを取り除き、女性社員は手水舎（ちようずや）を清掃した。

同社総務部の武山純さんは「気持ちよくお参りしてほしい」と述べ、地域のために来年以降も継続すると話していた。

終了後は帯廣神社で安全祈願を聞き、無事故無災害を祈った。